副会長あいさつ

「新年度について」　高橋　喜巨

ご入学、進学おめでとうございます。昨年度は新しいことが沢山あり、今までは体験できないことが多くありました。それも経験の一つとして本年度に臨み、どんな状況でも悲観することなく前向きに笑い合えればそれで良いと思います。朝令暮改の昨今ですが、皆とともに、最善を尽くして参りたいです。

がんばるよ！

「二年生になって」

二年　小原　かんな

わたしは、一年生にやさしくしたり、おしえてあげたりしたいです。まだ、おなじほいくえんだった子しかおしえていないから、ゆうきをだして、ほかの子にもおしえてあげたいです。

「三年生になって」三年　川畑　風翔

三年生になってがんばりたいことは、一りん車です。ぼくがちょうせんしているわざは、一八〇度スピンです。このきゅうが合かくしたら、次のきゅうもがんばりたいです。

「四年生になって」四年　石川　乃愛

四年生になってがんばりたいことはキウイをきょうりょくしてたくさん作りたいです。しゅうかくかんしゃさいでキウイを売るのが楽しみです。他にもクラブや部活をがんばりたいです。

「五年生になって」五年　中島　遙希

ぼくは、山の学習をとても楽しみにしています。なぜなら、ろう学校の子たちといっしょに過ごせるからです。今年は六年生の子もいっしょなので、にぎやかな夜を過ごせそうです。思い出に残るようにしたいです。

「六年生になって」六年　二村　稜也

ぼくは六年生になってできるようになったことがあります。それは、授業で積極的に発言をすることです。五年生のときは勇気がなくて発言ができませんでしたが、六年生では自信をもって発言できるようになりました。これからも発言できるようにがんばりたいです。

新一年生保護者

「お陰さま」　池野　欽哉・梨恵子

毎朝、眠い目を擦りながらも徒競走のように出て行く匠海。帰宅時には、誇らしげな顔つきでトカゲも一緒。お陰さまで楽しい学校生活を送れているようです。緊急帝王切開で生まれＮＩＣＵに入った彼は、強い生命力で難を乗り越えました。子どもは奇跡です。六年間、可能性に満ち溢れた背中を見守っていきます。

「待ちに待った小学校」　石川　恵巳子

ランドセルを買った日から、小学校に行くのを楽しみにしていました。無事に入学式が迎えられてホッとしています。初めてのことばかりで、戸惑うこともあると思うけど、いろんなことに挑戦して、たくましく成長してほしいと思います。お友達と仲良く、毎日楽しく過ごしてくれると嬉しいです。よろしくお願いします。

「大きくなった息子」　大山　あいか

入学式。人見知りの息子は、きっと私から離れないだろうと心配していた。しかし、受付の前ですっと手を放した。驚きと安心と寂しさが込み上げた。式でも立派に返事をし、ただそれだけで嬉しくなった。

あれから一か月が経ちました。六人の仲間と、優しい先輩たちに囲まれて、元気に楽しく過ごしています。これからもどうぞよろしくお願いします。

「新一年生になって」　大山　敬子

慣れないランドセル。小学校までの長い道のり。小さな体で、新しい生活に戸惑いながらも毎日頑張っている姿を見て微笑ましい気持ちになります。恵田っ子のお兄さんお姉さんのように、優しく活発でたくましい子に成長していってね。

「新一年生保護者」　中根　絵美

兄と登校できる喜びと少しの緊張の中、六年生が優しくお世話してくれているおかげで、生活も慣れてきました。今一番楽しいことは、「掃除の時間」他の教室を他の学年の子と一緒にできる時間はまるで探検のようです。みんなでたくさんの経験をして素敵な冒険のお話を聞かせてくれる日を楽しみにしています。

「おめでとう新一年生」　中根　伸宏

里山の木々が芽吹き、通学路の傍らには春に咲く花々が新一年生を祝うかの様に咲き乱れております。重たそうなカバンも一年後には、軽々と背負っている事でしょう。少しずつ成長する恵田っ子を応援しております。

「お楽しみはこれから」　鈴木　政人

「学校は楽しい？」と聞くと、「うん、楽しい！」と答える翔大。毎朝眠い目をこすりながら通っているのに。自然に囲まれた恵田小は、他校には無い事が経験出来る。「お楽しみはこれから」六年間でたくさんの思い出を作ってほしい。

転入の職員紹介

山崎　博美　先生
淺井　恵子　先生
小島　すみれ　先生
伊豫田　万理子　先生

よろしくお願いします。